

胃・大腸がんオルガノイドを用いた抗がん剤耐性機構の研究

1. 研究の対象

2005年4月から2024年3月までに、国立がん研究センター東病院で胃がん又は大腸がんの手術を受けられた20歳以上80歳未満の方を対象とします。

2. 研究目的・方法

研究目的：抗がん剤耐性の原因を明らかにし新規診断法・治療法の開発を目指します。

研究方法：2005年04月01日～2024年03月31日に手術で摘出した組織からオルガノイドを樹立し解析を行います。研究許可日以降の手術で摘出した組織などの試料からオルガノイドという3次元培養モデルを樹立し解析を行います。また、研究許可日以前の手術で摘出した組織検体を用いて genome、遺伝子発現、がん代謝等様々な観点から、抗がん剤耐性のメカニズムを検討します。病理ブロックは主に免疫染色などの組織学的な解析に利用し、凍結組織は DNA、RNA などを抽出して、遺伝子異常や発現異常の検討に利用します。

研究実施期間：研究許可日～2027年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、既往歴、血液検査データ、病理学的検査データ、転帰情報(治療歴、再発歴等)

試料：手術で摘出した組織(新鮮凍結組織、病理ブロック)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：坂本 直也 (臨床腫瘍病理分野・ユニット長)

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター先端医療開発センター臨床腫瘍病理分野

電話：04-7134-6855

e-mail naosakam●east.ncc.go.jp(●を@に置き換えてください)

研究機関の長

国立がん研究センター 理事長 中釜 斉